

市町村名	石垣市						
平成29年度（後年度効果発現）沖縄離島活性化推進事業費補助金検証シート							
事業名	再生可能エネルギー活用電動スクーター導入によるエコアイランド化推進事業	事業類型	<input checked="" type="checkbox"/> 産業振興 <input type="checkbox"/> 定住促進 <input type="checkbox"/> その他				
担当部課名	企画部企画政策課	事業実施（予定）年度	平成29年度				
事業内容	環境に配慮した交通手段の確保及び災害時における電力の確保を図るため、民間事業者が整備する電動スクーターの動力源となり、また災害時の非常用電源としても活用できる太陽光発電・蓄電設備を整備する。						
先導性に係る取組	<input checked="" type="checkbox"/> 自立性 <input checked="" type="checkbox"/> 官民協働	<input checked="" type="checkbox"/> 政策間連携 <input type="checkbox"/> 事業推進主体の形成	<input type="checkbox"/> 離島活性化を担う人材の確保・育成 <input type="checkbox"/> その他				
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度（令和元年度）						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「補助金」＋「市町村負担」ベース）		H29年度	H29年度（繰越）				
	予算の状況	(a) 当初予算額	72,550	-			
		(b) 予算現額	72,550	-			
		(c) 増減額 (b-a)	0	-			
		(d) 繰越額	0	51,372			
		A. 計 (b+d)	72,550	51,372			
	B. 執行済額		21,178	28,684			
	うち補助金充当額		16,942	22,947			
	次年度繰越額		51,372	0			
	執行率（％）(B/A)		29.2%	55.8%			
予算の状況の説明		平成29年度事業であったが、資材の入手難により工期の年度内完成が困難となり繰り越した。不用額22,687千円は、計画の再検証による太陽光発電・蓄電設備の設置箇所数の減によるものである。					
活動目標（指標）及び達成状況	活動目標（指標）		達成状況				
			H29年度				
	太陽光による充電のための設備の設置		目標	(3箇所)	()	()	()
		実績	2箇所				
達成状況説明	平成29年度事業を繰り越し、平成30年度に市内2箇所において太陽光による充電のための設備を設置した。当初計画では3箇所への設置を予定していたが、整備前の事業者との協議及び再検証の結果、利用見込等を勘案して整備適地と判断した2箇所のみでの整備となった。						
成果目標（指標）及び進捗状況	成果目標（指標）		基準値（年度）	H29年度	H30年度	R1年度	
	電池交換式スクーターの利用者数（人／年）		目標	(-)	(-)	(14,400人以上)	(-)
			実績	-	-	4,573人	14,605人
	電池交換式スクーターによるCO2削減量（トン／年）		目標	(-)	(-)	(78トン以上)	(-)
		実績	-	-	25トン	79トン	

	<p>進捗状況説明</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業完了後の平成30年5月から供用開始し、令和元年度には年間利用者数が14,605人となり、目標値を達成した。 ・総走行距離は1,314,450kmであり、一般的なレンタカー車輦と比較し、CO2排出量が79トン削減された換算となり、目標値を達成した。 ・平成30年度の電動スクーター導入以降、国内外の観光客等をはじめ、地域住民の利用も増加している。市の観光スポット等を紹介したチラシを作成し、その中で電動スクーターの宣伝を行ったり、石垣港離島ターミナルにて電動スクーターの貸出を可能としたことにより、地域住民の認知度も高まった。 ・観光客への認知も進み、利用者のうち、約7割が観光客の利用となっている。 	
<p>取組の検証</p>	<p>推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)</p>		<p>改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・電池交換式スクーターの利用を促進していくために、交通インフラとしての利便性確保が課題となる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通インフラとしての利便性確保に向け、市内の充電スポットを増設する必要がある。 	
<p>今後の取り組み方針</p>			
<ul style="list-style-type: none"> ・レンタルスクーター事業者と連携し、電池交換式スクーターの利用状況(利用者数、利用者の属性、走行場所等)に留意しつつ、利便性を高めるための充電スポットの増設を検討する。 ・観光客向けの宣伝広報として、各種メディアの記者等に電池交換式スクーターの利用を体験してもらい、具体的な利活用方法や島内周遊の楽しみ方等を紹介してもらおう。 			

市町村名	石垣市
------	-----

平成29年度（後年度効果発現）沖縄離島活性化推進事業費補助金検証シート

事業名	光の架け橋創出事業	事業類型	<input checked="" type="checkbox"/>	産業振興
			<input type="checkbox"/>	定住促進
			<input type="checkbox"/>	その他

担当部課名	企画部企画政策課	事業実施(予定)年度	平成29年度
-------	----------	------------	--------

事業内容	観光誘客及び観光客の満足度向上を図るため、夜間の新たな観光コンテンツとして市街地と新港地区を結ぶサザンゲートブリッジに高輝度カラーLED照明装置等を設置し、ライトアップを行う。			
	先導性に係る取組	<input type="checkbox"/> 自立性 <input checked="" type="checkbox"/> 官民協働	<input checked="" type="checkbox"/> 政策間連携 <input type="checkbox"/> 事業推進主体の形成	<input type="checkbox"/> 離島活性化を担う人材の確保・育成 <input type="checkbox"/> その他

効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和元年度)
--------	---

実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()
------	---

予算額・執行額 【単位:千円】 (「補助金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H29年度(繰越)		
		(a) 当初予算額	73,672	-	
(b) 予算現額	73,672	-			
(c) 増減額(b-a)	0	-			
(d) 繰越額	0	73,672			
A. 計(b+d)	73,672	73,672			
B. 執行済額	0	73,672			
うち補助金充当額	0	58,937			
次年度繰越額	73,672	0			
執行率(%) (B/A)	0.0%	100.0%			
予算の状況の説明	H29年度はサザンゲートブリッジの緊急修繕により着手できず翌年度に全額繰越となった。 H30年度は計画どおり、プロポーザルにより業者選定を行い、事業は適正に執行できた。				

活動目標(指標)及び達成状況	活動目標(指標)	達成状況			
		H29年度			
高輝度カラーLED照明装置の設置	目標	(1箇所)	()	()	()
	実績	1箇所			
プロジェクションマッピング装置の設置	目標	(1箇所)	()	()	()
	実績	1箇所			
達成状況説明	H30年8月から着手し、H31年3月に高輝度カラーLED照明装置をサザンゲートブリッジへ取り付け完了。ライトアップをH31年3月から開始。 また、橋梁に投影するプロジェクションマッピング装置も平行して整備した。				

成果目標(指標)及び進捗状況	成果目標(指標)	基準値(H30年度)	R1年度		
		観光客数の増加の割合(毎年1月~12月)	目標	(前年比+5%以上)	()
	実績	1,369,412人	+7.4% (1,471,691人)		
観光客の満足度	目標	(前年度+5%以上)	()	()	()
	実績	93.7%	+4.7% (98.4%)		
進捗状況説明	事業完了が平成31年3月のため基準値を平成30年度実績値とし、本事業の効果を令和元年度の実績で検証。 「観光客数の増加の割合」については、基準値1,369,412人(H30)に対し、令和元年度は1,471,691人の前年度比7.4%増となっており、成果目標を大きく上回っている。 「観光客の満足度」については、沖縄県が実施している観光統計実態調査において、八重山旅行の景観満足度について、「大変満足」、「やや満足」と答えた人の割合が、基準値93.7%(H30)に対し、令和元年度は98.4%の前年度比4.7%増となっており、成果目標をわずかに下回った。				

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>○台風による機械の破損、故障への対応。</p> <p>○西表石垣国立公園の「星空保護区」指定による、同区域に隣接するサザンゲートブリッジのライトアップについて、星空観賞に配慮する必要がある。</p>	<p>○定期的な保守点検の他、適宜ライトアップの状態を目視確認することで、故障・不具合等をいち早く発見し、修繕を行い観光資源としての機会損失を防ぐ。</p> <p>○西表石垣国立公園が日本では唯一の星空保護区に認定されたことから、橋のライトアップの光量を必要最小限に抑え、ライトアップ時間も深夜に及ばないようにするなど、星空保護と両立しながら運用していく。</p>
今後の取り組み方針		
<p>○各種メディアに取り上げられるようになり、認知度の向上が図られたため、今後はライトアップのクオリティの維持・向上が必要不可欠となる。故障・不具合によって観光資源としての機会損失が起きないように、設備の維持管理に細心の注意を払いながら、引き続きライトアップを活用したイベント等を実施し、更なる認知度の向上を図る。</p> <p>○橋のライトアップによって星空観賞に影響が出ないように、星空保護区を認定する団体(IDA・国際ダークスカイ協会)とライトアップの運用について都度協議を行い、夜間の観光スポット創出と星空保護を両立できるよう運用方法の改善を図る。</p>		

市町村名	石垣市						
平成30年度（後年度効果発現）沖縄離島活性化推進事業費補助金検証シート							
事業名	石垣島植物工場整備事業	事業類型	<input checked="" type="checkbox"/> 産業振興 <input type="checkbox"/> 定住促進 <input type="checkbox"/> その他				
担当部課名	企画部企画政策課	事業実施（予定）年度	平成30年度				
事業内容	観光客及び島民へ新鮮な葉野菜を安定的に供給するため、島内での葉野菜の生産が可能となる植物工場を整備する事業者に対し補助金を交付する。						
先導性に係る取組	<input checked="" type="checkbox"/> 自立性 <input checked="" type="checkbox"/> 官民協働	<input checked="" type="checkbox"/> 政策間連携 <input type="checkbox"/> 事業推進主体の形成	<input type="checkbox"/> 離島活性化を担う人材の確保・育成 <input type="checkbox"/> その他				
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度（R1年度）						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「補助金」＋「市町村負担」ベース）		H30年度					
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額 (b-a) (d) 繰越額 A. 計 (b+d)		40,000				
			40,000				
			0				
			0				
			40,000				
		B. 執行済額	40,000				
		うち補助金充当額	32,000				
		次年度繰越額	0				
		執行率（%）(B/A)	100.0%				
	予算の状況の説明	当初の計画どおり、事業者に対し補助金を交付し、事業は適正に執行できた。					
活動目標（指標）及び達成状況	活動目標（指標）		達成状況				
	設置工場件数	目標	(1箇所)	()	()	()	
		実績	1箇所				
	作付面積	目標	(30坪)	()	()	()	
		実績	60坪				
達成状況説明	○当初予定していたコンテナではなく、風雨・塩害に強い、RC造りの補助事業者所有の建物を植物工場へと改修、転用した。 ○1段当たり3.3坪×6段×3列により約60坪の作付可能面積が整備できた。						
成果目標（指標）及び進捗状況	成果目標（指標）		基準値（H30年度）	H30年度	R1年度		
	植物工場における葉野菜の年間生産量	目標		(2.7トン以上)	(32トン以上)	(-)	(-)
		実績	-	-	9.04トン		
	進捗状況説明	○事業計画では平成30年8月に工事が完了し、野菜の生産を行う計画であったが、工場の建設が平成31年2月末までかかったことから、年度内の生産及び収穫ができなかった。 ○令和元年度は安定した生産・供給が可能であるか確認するため、市場には出荷せず栽培のみのテスト稼働を行い、最大生産量を把握した。工場のテスト運転の結果、フル稼働で得られる最大生産量は年間約9トン（750キロ/月）であることが判明し、成果目標を大きく下回った。令和2年度以降、市場に出荷予定。 ○成果目標は大きく下回ったが、安定的に年間9トンを生産・供給することで、夏場に安定した価格で十分な葉野菜を供給できている。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>○工場のテスト運転の結果、フル稼働で得られる最大生産量は年間約9トン(750キロ/月)であることが判明し、成果目標の達成が困難となった。(導入機能や規模を決定する前に定めた目標であったため)</p> <p>○時期によっては地元路地産物や島外仕入れの供給が高まり、価格の面で不利となる。</p>	<p>○工場の稼働を可能な限り高め、収益化させることで、運営する民間事業者の設備投資につなげ、生産量の拡大および安定的な葉野菜の供給を目指す。</p> <p>○通年で葉野菜の需要が見込める販売先を開拓し、地元路地産物や島外仕入れの供給が高まる時期においても工場葉野菜の販売を安定化させる。</p>
今後の取り組み方針		
<p>○植物工場の経営を軌道に乗せられるよう、当面は収益性の高い作目の生産を優先させ、収益確保及び生産の効率化を図る。また、計画的な生産拡大の達成に向け、生産計画を現実的な経営計画を踏まえたものに見直し、着実な事業実施及び安定的な葉野菜供給確保に努める。</p> <p>○通年で葉野菜を必要とするホテルや飲食店などと野菜販売の年間契約を提案するなど、ターゲットを絞って販路開拓を行う。</p>		